

# 佐保会兵庫県支部だより

## 第42号

佐保会兵庫県支部事務局

〒651-1133

神戸市北区鳴子2丁目19-6

永福方

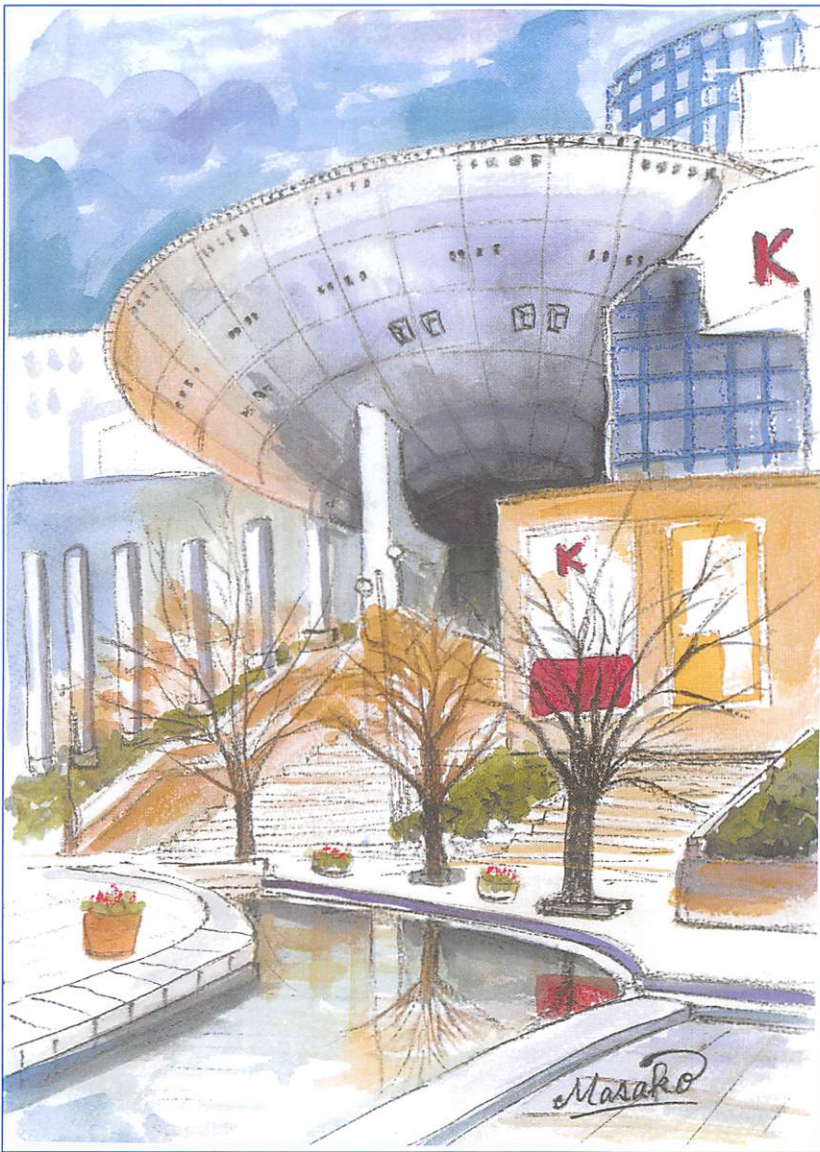
「中国の歴史に見える日本の古代」 中村京子（S32理物）

「新しい日本の歴史」という講座に誘われ、魏志倭人伝の本を手にしました。私の日本古代史は大森貝塚の驚きにはじまり、芦屋市会下の山遺跡、神戸市灘区の銅鐸発見、出雲荒神谷、加茂岩倉、洲本松帆と驚きは続いています。昨年は住吉駅隣接のシーア店に向けた帆立貝型大型古墳跡を知り、都市や山野に埋る文字の無い遺跡が古代を解き歴史を組み立てつつあることに感動しています。

手にした魏志倭人伝は現代語訳を伴った中国の歴史書で、後漢書、宋書、隋書、唐書の東夷伝部分です。他に高句麗広開土王碑文、晋書、南齊書、梁書などが原文で収められています。魏志倭人伝にはご存知、卑弥呼、邪馬台国、倭国、倭人のことが書かれています。卑弥呼が不仲の狗奴国を訴えて派遣された魏の武官張政は卑弥呼の死の前後回り、247年から、次の女王壹与を立て、倭国が安定するまで、倭国に滞在しています。張政が帰った時、魏は無く、晋の時代ののはじまりで265年となっていますので、張政の倭国滞在は18年ほどとなります。魏志倭人伝を書いたのは陳寿（233年～297年）で、ともに政に近く、時期も重なります。魏志倭人伝の内容は張政18年間の倭国見聞記と言えるでしょう。

この時代の和人は長生きで100歳くらいと書かれています。宋書には400年代の倭国の王達が朝鮮半島などで武力活動を続けていた様子が記録されています。日本の歴史ではこの王たち（讚・珍・濟・興・武）を今、応神、仁徳・・・雄略各天皇に比定するのに苦労しています。この辺りの天皇は長生き出来ていないようです。宋書のこの内容が日本歴史にとり込まれる時、どのように表現されるのでしょうか。隋書に阿蘇山から噴き出す石が家などを焼くという話が記録されています。百済や新羅と倭国はよく行き来しているなどの記録もあります。

唐書になると唐突に 神武、綏靖・安寧・懿徳・・・天武・・・と天皇名が中国の歴史書に並び驚きました。この頃国名が「倭」から「日本」に変わっています。私は中国の歴史書で日本の古代を覗いた気分です。



「神戸ファッション美術館」

瀬正子（S37家食）P7に取材記事があります。

# 平成30年度 佐保会兵庫県支部総会

平成30年5月27日(日) ホテルクラウンパレス神戸

## 卒寿のお慶び

(昭和24年卒業)

田邊 富子 様 (理I)  
西 栄子 様 (家)  
小山美都子 様 (保)  
並川 明子 様 (保)  
谷 節子 様 (理)  
土田 陽子 様 (保)  
荒井 英子 様 (保)  
宮崎 操子 様 (保)

## 卒後55年のお慶び

(昭和38年卒業)

森下 敏子 様 (家食)  
立花 紀子 様 (理数)  
藤岡 利子 様 (家被)  
石沢 宏子 様 (理生)  
山田由紀子 様 (理化)  
大槻眞紀子 様 (家食)  
倉橋千恵子 様 (家食)  
安東 和子 様 (理生)  
建林 章子 様 (家被)  
三枝 瑤子 様 (文英)

## 哀悼

平井 恵美 様 (S19 文) 没年月日不明  
富江ハス子 様 (S32 家食) H29. 2. 7 没  
高山 直子 様 (S20 臨家) H29. 7. 23 没  
高瀬久美子 様 (S44 文英) H29.12.11 没  
湯浅 夏子 様 (S29 文地) H30. 2. 4 没  
織部ミチ子 様 (S29 家食) H30. 3. 6 没

## 2019年度支部総会

2019年6月1日(土)

神戸元町 風月堂ホール

JR・阪神「元町駅」下車5分

風薫る5月の日曜日、ホテルクラウンパレス神戸には、昭和31年から今春卒業された方まで佐保会員52名が一堂に会しました。6つの丸テーブルには同じ年代の会員が席を占め、話の輪もここかしこに広がり同窓生ならではの和やかな雰囲気にもまれて今年度の兵庫県支部総会が開催されました。

会はこの一年に逝去された方々への黙祷から始まり、永福支部長の挨拶の後、新入会員の紹介があり、今春卒業された青木様から挨拶がありました。

続いて議事に移り、平成29年度の事業報告と収支決算報告および監査報告がすべて承認されました。「樫の会」「HP研究会」「支部だより41号発行報告」「睦会」の各代表者からも報告がなされ、出席者全員の拍手で承認されました。

次に平成30年度役員承認および紹介がなされ、地区リーダーも席で起立して自己紹介がありました。

引き続き平成30年度事業計画(案) 同じく収支予算(案)も出席者全員の拍手で承認されました。

記念品の贈呈に移りました。卒寿のお祝い(8名) 卒後55年のお祝い(10名)では今年に共にご出席がなく記念品はお送りすることになりました。

報告事項に移り、中井昌子本部長より一般社団法人佐保会および奈良女子大学同窓会佐保会について報告がありました。佐保会館の補修終了報告並びに会館で実施されている文化講座が紹介されました。

続く特別企画第一部は今岡春樹学長から「大学の現状について」と題してお話があり、また来年5月には母校が創立110周年を迎える旨報告されました。

会食後の特別企画第二部は、伝統と実績を誇る男声合唱団、関西学院グリーククラブの合唱演奏でした。出席者は午後のひとときを味わい深い合唱に聴き入りました。そして、全員で女高師校歌を斉唱し支部総会はお開きとなりました。

## 会次第

1. 物故者に対し黙祷
2. 開会のご挨拶
3. 支部長あいさつ
4. 新入会員紹介
5. 議長選出
6. 議事
  - ① 平成29年度事業報告
  - ② 平成29年度収支決算と監査報告
  - ③ 平成30年度役員承認および紹介
  - ④ 平成30年度事業計画(案)
  - ⑤ 平成30年度収支予算(案)
  - ⑥ その他
7. 記念品贈呈
  - ① 卒寿のお祝い(昭和24年卒業 8名)
  - ② 卒後55年のお祝い(昭和38年卒業 10名)
8. 報告
  - ① 一般社団法人佐保会および奈良女子大学同窓会佐保会
  - ② その他
9. 特別企画
  - 第一部 大学の現状について  
お話し 奈良女子大学学長 今岡 春樹氏
  - 第二部 会食
10. 第二部 合唱演奏 関西学院グリーククラブ  
奈良女子高等師範学校校歌 斉唱  
閉会のご挨拶



## 平成30年度 新入会員 (33名)

卒業学部	氏名	地区	卒業学部	氏名	地区	卒業学部	氏名	地区
文歴史	秋 定 恵里香	西区	理科連	小 山 莉 佳	尼崎市	生環住	樋 本 ころこ	美方郡
文地理	原 田 利 紗	西区	理命化	宮 架 蓮	三田市	生環住	中 原 優 歩	三田市
文メディア	北 野 菜緒子	中央区	理命生	松 下 穂乃花	西区	生環住	藤 田 夏 耶	宝塚市
文メディア	島 津 葵	加古郡	生環心健	松 田 玲 奈	西宮市	生環住	植 西 沙 織	東灘区
文メディア	川 口 はる菜	中央区	生環心臨	池 田 真由香	宝塚市	生環住	鈴 木 伽奈子	明石市
文日垂	青 木 里 紗	長田区	生環心臨	見 通 智香子	宝塚市	生環住	多 賀 綾 香	たつの市
文日垂	小 泉 紀 乃	伊丹市	生環情通	玉 井 日菜子	洲本市	生環文	坂 口 恵里子	北区
文日垂	友 井 真梨奈	丹波市	生環情通	塚 本 麻 衣	加西市	博前心	梶 本 涼 子	西宮市
文欧米	大 野 真由莉	尼崎市	生環情通	古 本 恭 子	佐用郡	博前物	佐 藤 瑛 子	中央区
理科物	亀 田 絵 理	西宮市	生環衣	上 野 誉 子	東灘区	博前化	田 中 友 理	西宮市
理科連	市 江 優 衣	東灘区	生環住	多々良 理 奈	奈良市	博前生	西 山 若 菜	東灘区

(敬称略)

## ご挨拶

支部長 永福 より子 (S44 家住)



現在佐保会全体の  
会員数は全国に約1  
6500名。内、兵  
庫支部には約12  
00名在籍。本年は  
33名の方々が新規に  
入会されました。

また、当支部より本部へは、監事1名、理事2名と代議員8名を選出してあります。兵庫県は広域に渡りますが、地区単位に「もより会」が開かれており、「睦会」、「HP研究会」、「樫の会」、「支部だより」等の諸活動も活発です。

問題点は、会費納入率が低く単年度の財政赤字が続いていることです。昨年より通信費節約の一環として皆様にメールアドレスの登録をお願いしておりますが、既に130名の方々からお申し込みがありました。メールでのやり取りは通信費の節約のみならず会員相互のコミュニケーションも取りやすくなります。ホームページから登録できますので、まだの方は是非ご協力いただければと思います。お知り合いで未登録の方がおられましたらお声掛け下さい。これから支部としても皆様のご意見をもとに、いろいろと新しい試みを進めて参りたいと思っております。何卒よろしくご協力をお願い致します。

## 特別企画 第一部

## 大学の現状について

奈良女子大学学長 今岡 春樹氏



今の大学を取り巻く現状についてお話をします。  
まずは本のご紹介。

「奈良女子大学叢書」は2016年に第1号を創刊して以来シリーズ3冊目となる『女性のための「物理教科書」研究』を刊行した。お茶の水女子大学との共同プロジェクトで理系女子の育成を図る取り組みをしているが、理系女子を増やすには、という観点から附属中等教育学校の元副校長と理科の先生が著した支部にも進呈するのでぜひ一読願いたい。

奈良女子大学は来年5月1日、ちょうど元号が変わる日に創立110周年を迎える。記念事業として学生寄宿舎の整備を進めている。特に大学院生用の寄宿舎を充実させたい。設計段階から学生が参加し、完成していくプロセスに関わることはそのまま教育の現場にもなる。企業からの援助も受けながらイベントとしての建物造りを行っていくつもりだ。コンクリートの箱ではなく木材をふんだんに使った柔らかな空間は勉学や研究に集中できる快適な環境になるだろう。できれば4年後の完成を目指したい。記念事業をスムーズに遂行するためにぜひ基金にご協力をお願いしたい。

大学改革の取り組みが始まって久しい。国立大学が法人化して14年目。1期6年で3期目に入った。国立大学を①地域、②特色、③世界の3つに分類、文科省がその枠組みに沿って取り組みを評価し交付金の増減に反映させる仕組みができていくが、経営状態はいづも厳しい。地方の大学としては数少ない②に属する本学はより特色を出し他大学との差別化を図らねばならない。交付金は毎年前年度の1%削減ルールで減り続けているが、各方面への働きかけが奏功して第3期は何とかカットはストップしてもらっている。掲げた数値目標達成の過程に対する文科省の評価は新聞などで公表されるので常に競争にさらされ苦戦を強いられているのが現状だ。国の予算には限界があるので企業などから研究費を調達できるような仕組みが重要になってくる。そのために教育・研究の価値を積極的にアピールして認めてもらうよう努めている。

少子化の問題もある。近年では18歳人口は平成4年の205万人をピークに減り続け、ここ数年は120万人程度で推移しているものの、今後は7年間に10万人の割合で減っていく。これまでは進学率の上昇でカバーされていたがそれも頭打ちとなり、大学の生き残りはますます厳しくなる。現在の規模を維持するためには、海外からの学生を期待するか、他大学との争奪戦で勝ち抜くか、存続をあきらめるかである。

また社会状況の変化に伴い、求められる人材のタイプが大きく変わつつある。学問に秀でているだけでは評価されなくなった。若いうちに失敗や挫折を経験した人ほど期待される。将来的には新卒の一括採用はなくなるだろう。30歳までを新卒と定義する会社もある。このような変化に因應するカリキュラムが必要だ。かつて大学は知識を教えていればよかった。米国では知識は4分の1、残りは人を鍛えることだという。知識のかんりの部分はAIが担うようになる。グローバルにビジネスで戦うために大学は対人スキルを教えることが肝要になってくる。

学生が行う研究に奈良の特異性を生かしたいと考えている。歴史・文化などはもちろんだが、奈良県の南部には過疎化が進んだ地域が多い。まず現場に足を運び、今そこで何が起きているのかを自分の目で確かめ「過疎って何?」「人が生きるって何?」ということを決していくことで対応力、応用力が身につく。このような実践的な教育は本学で学ぶ学生としての強みになるし地方創生にもつながるのではない。従来のように一つの狭い領域を掘り下げる学問をするのではなく、さまざまな分野の情報を集め人間が抱えている大きな問題に正面から取り組む。大いにディスカッションをして新しいアイデアを出し実行していける人を育てていきたい。

近年の技術の進歩はめざましい。機能満載のスマートフォン、自動翻訳機、自動運転、AI。これから先の10年はずっと常識が変わってくるだろう。便利になる反面大切なものを失っているという見方もできるが、大きな変革の中にある今、私たちは世の中のおもしろいことを笑って楽しんで元気に過ごしていきたいでしょう。

## 特別企画 第二部

## 関西学院グリーククラブ

## による合唱演奏

学院創立から10年後の1899(明治32)年に誕生したグリーククラブは、今年119年目を迎える、日本で最も長い歴史を持つ男声合唱団です。コンクールにおいても、戦前戦後と輝かしい実績を残しており、常に日本の合唱界をリードしてきました。

時代とともに学生の気質は変化を見せる一方、代々受け継がれてきた「メンタルハーモニー」をクラブモットーとして掲げ、メンバーひとりひとりの精神的調和がとれたときに生まれる独自のハーモニー「関学トーン」は、観客の心に響き、多くの人々から愛されています。

校歌オールド・クワンセイに始まり、英語の曲ではアップチューンなものから厳かな宗教曲まで。日本語の曲では、ポップスをアレンジした曲を中心に『ルパン三世のテーマ』『時代』『宙船』など。ユーモアたっぷりに台詞の入った『君といつまでも』は会場がおおいに盛り上がりました。



事務局からのお知らせ

メールアドレス登録のお願い

佐保会から各種のご案内やお知らせ、タイムリーなニュース等をメールでお届けしています。現在約130名の方がメールアドレスを登録してくださっています。メールの活用は通信費の節減を図ることもできます。是非メールアドレス登録にご協力をお願いします。

なお、メールアドレス登録を希望されない方には従来通りはがきでご案内いたします。

メールアドレスの登録は佐保会兵庫支部のホームページからできます。パソコンだけでなく、携帯電話（スマートフォン）からも登録できます。個人情報厳守、佐保会以外には使用しません。

※メールアドレス登録方法  
佐保会兵庫支部のホームページ「メールアドレス登録」から登録してください。  
佐保会兵庫支部HPアドレス  
<http://saho-hyogo.girlfriend.jp/>  
下記QRコードをご利用ください。



佐保会兵庫県支部だより等送付時の表紙デザイン募集のお知らせ

佐保会兵庫県支部では、支部だより等の文書をお届けする際に使用する表紙デザインを募集します。事務局で作品を選び、作者に連絡後、使用させていただきます。以下の要領で応募してください。

- 1 応募資格は、佐保会兵庫県支部の会員です。
- 2 形式は、絵画、写真、版画、イラスト、書等、デザイン手法は問いません。データでご応募下さい。未発表のオリジナル作品とします。
- 3 応募先は、佐保会兵庫県支部  
jimukyoku@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp  
メールでお送りください。
- 4 締切は、毎年12月31日とします。

平成30年度 地区リーダー

地区	氏名	卒年・学部学科等	地区	氏名	卒年・学部学科等		
神戸市	東灘区 蘭 由岐子 橋本 晶子	S56家生S58家修生 S57理化	阪神北	宝塚市 齋藤真喜子	S58理数		
	灘区 上原美由紀 正木みどり	S62文国H01文修国 H06理化		川西市 (川辺郡)猪名川町	永尾 照美 重松 絹枝	S30文国 S47家被	
	中央区、兵庫区、 長田区 永田ひろみ 佐瀬絵理子	S57文教 S60理化		三田市	角野 敏子 千代延栄恵	S58理物 S63家生	
	北区 川崎栄理子 松本久美子	S51文英 S53家食		東 明石市	安部 秀子 中村佐智子	S55家住 S57文教	
	須磨区 大橋 節子	S41文英		播磨	加古川市、高砂市 (加古郡)播磨町・稲美町	川崎万紀代 大西 香里	S52理修数 H06理数
	垂水区 出井 葉子 武 佳美	S55文教 S56家生		北播磨	西脇市、三木市、 小野市、加西市、加東市 (多可郡)多可町	常深 規子 合田 夏美	S52理物 S56理化
	西区 鈴木美根子 藤原ひろ子	S42家食 S47理化S49理修化		中播磨	姫路市、 (神崎郡)神河町・ 市川町・福崎町	穂積さなえ 杉本 香織	S56文英 H21博前環
阪神南	尼崎市 佐藤 美子 伊藤 恭代	S48文史S50文修史 S54理化S56理修化	西播磨	相生市、たつの市、赤穂市 宍粟市、(揖保郡)太子町 (赤穂郡)上郡町 (佐用郡)佐用町	山本紀代美	H06家生	
	西宮市 木村 恵子 森田 幸子	S46家被 S46家住	但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 (美方郡)香美町・新温泉町	小林 嘉子 三角三紀子	S37家被 S44理数	
	芦屋市 池澤 直子 岡本 京子	S49理化 S62家生H01家修生	丹波	篠山市、丹波市	奥田 敦子	S52文国S54文修国	
阪神北	伊丹市 浅田 真理 林 淑美	S61家生 S62家食H01家修食	淡路	洲本市、南あわじ市 淡路市			

地区リーダー会報告

平成30年8月19日(日)に神戸市勤労会館で第24回地区リーダー会を開催しました。支部長あいさつの後、参加のあった14地区のリーダーから、もより会への様々な世代の参加を促すための工夫の報告や運営方法の提案などがありました。そして、櫻の会、HP研究会、睦会からの報告及び参加依頼等があり、東灘区の支部だより編集状況報告と次号担当の紹介がありました。

もより会

宝塚地区 齋藤 真喜子 (S58理数)  
平成30年11月25日(日)宝塚の老舗イタリアレストラン アモーレアペーラにて平成最後の宝塚地区のもより会を開催。お天気にも大変恵まれ、小春日和の一日でした。

参加者は10名。私は、昨年宝塚もより会に参加。そんな二年目の新人が、今年初のお世話役を担わせていただきました。

宝塚もより会は、平成4年からスタート、今回で27回目。継続は大変ですが、お世話役の方が確実に引き継いでくれました。今年の大役を任せられた私としては、「この会を絶やしてはいけない」との思いで今年のもより会に臨みました。今回、新たに試みたことは、メールのご案内。郵送にて「もより会案内」をお届けすると同時に、メールアドレスのご提示をお願いしたところ、な、な、なんと、会員の26%の方からお返事が…。素晴らしいことです。メール会員は主に50代以上の方々ですが、今後のご案内が簡便になること、間違いなしです。

お食事と談笑であったという間に二時半の時間が過ぎていきました。年一回の会合ですが、先輩の皆さまがお変わりなくお元気で活躍、活動されているお姿、お話を聞けて、私自身もパワーをいただきました。最後に、一同での記念写真を撮りました。最後に、一同での記念写真を撮りました。最後に、一同での記念写真を撮りました。

来年は、宝塚ホテル(2020年春に宝塚歌劇横に移転予定)での宴を計画しております。今回参加の皆さまには、来年に向けて会費の積み立て(?)をお願いいたしました(笑)。

ホームページ研究会

丸岡 玲子 (S3 理数)

ホームページ研究会では、佐保会員の交流と親睦、様々な活動をIT面から支援することを趣意に活動しています。兵庫県支部ホームページには、事務局や樫の会、睦会などの活動予定・報告をタイムリーに掲載していますので、是非一度ご覧下さい。

当支部には「地区」設定があり、各地区は特色のある文化・風土を持ち、興味深い活動や交流を進めておられます。離れた地区とFace To Faceの情報交換をする事は難しくても、WEB上で情報発信・相互交流ができるよう「地区だより」サイトの立上げをお手伝いしています。今年度は、北播磨と東播磨の地区だよりができました。

又、支部運営の効率化とコストダウン、利便性向上の試みとして、事務局や地区リーダーなどお世話役と会員各位との連絡にメールを活用し、アドレスを登録された皆様にメールマガジンを不定期に発行しています。

その他、WEB上で日程調整を行うアプリや、スマホやデジカメで撮った写真でフォトブックを作ったり、WEBアルバムで家族や友人間が写真共有できるサービスの紹介など、和気あいあいと楽しい勉強会を行っています。

3月9日(土)は「楽しいIT活用講座」を予定していますので、気軽にご参加下さい。

睦会

野道 和子 (S50 理物)

平成30年10月31日(水)、第43回睦会を湊川神社楠公会館にて開催し、24年卒の方から53年卒の方まで42名が集まりました。永福支部長のご挨拶の後、声楽家の大屋尚美さんの歌を聴きました。美しい衣装、綺麗な力強いお声。カントオーネ・沖繩の歌・オペラを聴きうっとりするひと時を過ごしました。

その後32年卒の林茂代さんに乾杯の音頭を取って頂き、食事をしながら近況報告。介護・趣味・健康・断捨離の話。脳梗塞や癌を克服された方々。天皇陛下と同一年の方。睦会のお世話をされてから睦会で出会っている方々。教え子が奈良女を希望して嬉しいと言われた方。いろいろな話が出て、最後に幼稚園の園長さんをされている最年長の並川さんが締めくくって下さいました。

樫の会の鈴木美根子さんから今後の予定、桑名さんから介護食等のおみやげの説明。最後は校歌斉唱で先輩方が大きな声で歌って下さいました。ご欠席の方々からもたくさんの励ましのお言葉を頂き本当にありがとうございました。



樫の会

バスツアー

三田方面に参加して

鈴木 美根子 (S42 家食)

平成30年4月26日(木) 参加者24名。

絶好の行楽

日和、三宮を出発し、先ず

旧三田藩主丸

鬼氏の菩提寺

心月院を訪れ

満開のツツジ

と手入れの行き届いた庭園に目をうばわれ

ました。

九鬼家や白州次郎・正子夫妻の墓所に手を合わせた後、「三

田ふるさと学習館」を訪問。明治9年頃に建てられた擬洋風建

築「旧九鬼家住宅資料館」の説明に耳を傾けました。

お昼は「がんこ お屋敷 三

田の里」にて。おしゃべりも弾

みました。午後は有馬富士公園

展望台からの新緑に覆われた眺

めを楽しみ、新宮晋氏の「風の

ミュージアム」へ。世界初の野

外ミュージアムで風を受けて舞

う彫刻展示を堪能。永沢寺では

見ごろの芝桜を愛で一同満足し

て帰途につきました。



樫(ゆずりは)の会 2019年度 行事予定

	内 容	会 場	時 間	講師(敬称略)	備 考
4月25日(木)	バスツアー 生野方面 生野銀山 生野の街歩き	集合場所 三宮東急REIホテル前	9:00~17:30		参加費 6,000円 申し込み必要
6月27日(木)	食文化講座 行事食と伝えたい料理	神戸市勤労会館	13:00~15:00	片寄 眞木子	参加費 300円
7月25日(木)	国際交流 多文化共生って?	神戸市勤労会館	13:00~15:00	マズムダル・ミナ 桂 美穂子	参加費 300円
9月26日(木)	美術鑑賞	美術館または博物館	13:00~15:00	学芸員解説予定	入館料実費 申し込み必要
10月24日(木)	歴史散歩 高砂 船と松の町を巡る	集合場所 山陽電鉄 高砂駅	10:00~15:30	埴岡 真弓	参加費 3,000円 申し込み必要
11月28日(木)	住生活学講座 脱・住宅短命社会	神戸市勤労会館	13:00~15:00	山崎 古都子	参加費 300円
2020年 2月27日(木)	芸術鑑賞 落語を楽しむ	ドンク 岡本グルメ館 阪急岡本駅 南出口すぐ	11:30~15:00	桂 治門	参加費3,500円 昼食費込み 申し込み必要
3月26日(木)	福祉講座 高齢者介護の現状と これからの介護サービス	神戸市勤労会館	13:00~15:00	田村 照美	参加費 300円

\* 事情により日時等変更することがあります。 \* 佐保会員以外の方の入会も歓迎

\* 申し込み必要 下記の運営委員、又は樫の会のEメール (yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp) にご連絡下さい。

なお 年間行事の近々の予定や終了した行事の内容は「佐保会兵庫県支部」のホームページにアップされていますので、ぜひご覧ください。

2019年度 運営委員 (代表) 鈴木 美根子 (078-927-8532) (委員) 片寄 眞木子 岩崎 雅美 乙武 ヨシミ 末田 香里

# の1～「美術館」

神戸市東灘区は、北の六甲山から南は六甲アイランドまで広がり、魅力的な美術館がたくさんあります。

## 1 白鶴美術館

白鶴酒造7代目嘉納治兵衛が1934（昭和9）年に開館しました。東洋古美術を中心とした自身の収集品を保管・展示するための私設美術館です。収藏品は国宝2件、重要文化財22件を含む1400点以上。日本美術では経巻、仏教工芸品、絵画、中国のものとしては青銅器、銀器、陶磁器などがあります。

本館は住吉川のせせらぎと六甲山の緑が心地よい、海と東灘の街並を見晴らす高台に位置します。階段、渡り廊下、天井、釘隠し、照明などに当時の最高の技術と意匠が反映されており、見どころがたくさんあります。本館展示室1階からは外に出ることができ、ゆっくりと庭園を楽しめます。白鶴美術館は奈良とゆかりが深いようです。設立者の嘉納治兵衛は奈良出身。興福寺の要職で古美術を扱う名家に生まれ、少年時代には初期の頃の正倉院展にも積極的に関わったといえます。その後婿養子として「白鶴酒造」の財閥嘉納家に入りました。

玄関に入つてすぐ奥に広がる中庭に私たち佐保会員には懐かしい建造物があります。青銅製八角灯籠。東大寺大仏殿前にある金銅製八角灯籠（国宝）から直接型を取りそっくり写したものです。収藏品にも奈良の寺社伝来の品が多く、治兵衛が自らの古希を記念して設立したこの美術館には奈良への思いが詰まっているようです。



## 2 香雪美術館

山手幹線の大通りを一本北に入ると広大な屋敷の一角に香雪美術館があります。これは朝日新聞社の創業者・村山龍平が収集した日本・東洋の古美術品をもとに翁没後40年にあたる昭和48年に開館されました。絵画、書跡、仏教美術、茶道具や武具など幅広く所蔵され、重要文化財も19点を数えます。館名「香雪」は村山翁の雅号に因みます。

明治12年に朝日新聞を創刊した村山翁は美術にも関心を寄せ、岡倉天心らが主宰した美術専門誌「國華」の経営を支援、また美術品の海外流出を憂い自らも名品の収集に注力しました。

## 4 神戸市立小磯記念美術館

本館は1992年に開館され、小磯良平の遺族から寄贈された油彩・素描・版画などが展示されており、シーズンごとの企画展もあります。

小磯良平（1903-1988）は神戸市中山手通出身で、神戸二中（現・兵庫高校）卒業後、東京美術学校（現・東京芸術大学）に進学しました。首席で卒業後、フランスに留学。主題は静物、肖像、群像等幅広く、とりわけアトリエでモデルにさまざまなコスチュームを着せて描く手法が得意のようです。作品のなかでは、夫人や小磯似の娘の絵も目につきます。小磯が制作に励んだアトリエも美術館の中庭に移築され、1949年当時の姿に復元されています。アトリエ内部には、リュートや柱時計などに登場する数々の品がパレットにのった絵の具や筆などの画材とともに置かれていて、見る者に制作風景を彷彿させます。

戦中は従軍画家として後進を育て、定年退官後も東京芸大の教授として後進を育て、定年退官後も迎賓館の大広間の壁画を制作するなど、日本の洋画壇に大きく貢献しました。



## 美術館めぐり





## 東灘点描

～そ

公益財団法人としては、文化財保存・活用事業と奨学金事業の二つの事業が柱となっているそうです。所蔵品は「コレクション展」として公開され、日本美術などの作品は「企画展」として開催されています。また、平成30年春には、この美術館の分館として、大阪市内「中之島フェスティバルタワー・ウエスト」4階に「中之島香雪美術館」も開館されました。御影の本館にある重要文化財の茶室「玄庵」も再現されています。



### 3 世良美術館

阪急御影駅南口より南へ徒歩3分。神戸市の建築文化賞にも選ばれた丸型ドームを持つ建物が世良美術館。小磯良平画伯に師事した世良臣絵（せらとみえ）が創設した個人美術館です。

世良は1911（明治44）年に東京・麻布の生まれ、父親の方針で、3歳からピアノを習い、また語学もできる自立した人になるため6歳より東洋英和女学院の寄宿舎に入り、卒業後はピアノ指導者になり結婚後移り住んだ神戸でもこの仕事を続けました。

小磯画伯と知り合う機会があり、30歳から本格的に画業を始め、1954（昭和29）年には一水会に初入選を果たし、その後フランスに游学、帰国後には滞欧作品展を開催、その後毎年欧州各地へ写生取材に渡り個展を開催しています。

平成4年には「女性がほっとできる空間」を目指しこの美術館を開館。ヨーロッパに数多くある小さな個人美術館を参考にしたいといます。外壁の煉瓦は南イタリアの少女の頬の色のイメージで、白を基調とした館内の明るい雰囲気を引き立てています。その館内は自然光がふんだんに取り込まれサロンのような雰囲気が漂っています。自然に魅せられた世良画伯の花々の絵に囲まれる時間はまさに、心がホッと深呼吸するひとときでしょう。



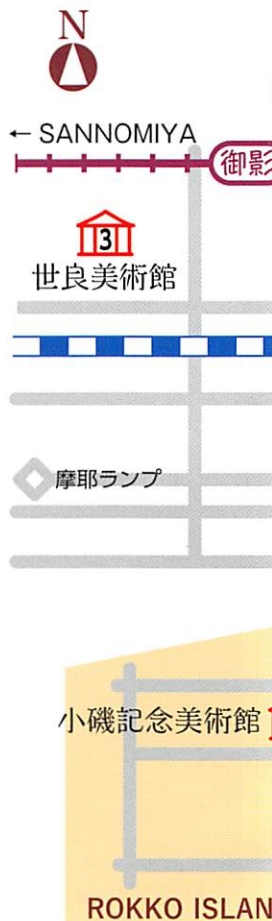
### 5 神戸ファッション美術館・神戸ゆかりの美術館

神戸ファッション美術館は、1997年に開館されたファッション（衣食住遊）をテーマにした公立で初めての美術館です。円盤状のオルビスホールと大階段からなるインパクトのある外観で、六甲アイランドの名所にもなっています【表紙絵参照】。1階の展示室では、ファッションを多角的な切り口で紹介する「特別展示」と収蔵品を活用した「ベシック展示」が開催され、3階のライブ러리では、国内外のファッション関連の蔵書やビデオ、CDを閲覧・観賞できます。最新号からバックナンバーまでそろったファッション雑誌を閲覧したり、映画や音楽をブースにすわってゆったり鑑賞したりできる穴場のスポットです。4階にはギャラリーやセミナー室があり、小展示や企画展関連の講演などが行われ、オルビスホールではコンサート、演劇などの各種イベントが開催されています。

収蔵されている衣装は国内外から集められた宮廷衣装や民族衣装、デザイナー作品からなり、モードの歴史、先人達の繊細な手仕事とデザインの妙を堪能できます。1階のホールでは、宮廷衣装のレプリカを着て写真を撮るコーナーや、自身の顔写真とさまざまな衣装とをモニタージュッさせてバーチャル試着体験のできるコーナーがあり、年齢を問わず楽しく過ごせる工夫がなされています。

神戸ゆかりの美術館は神戸で育まれた芸術文化を発信するため、神戸ファッション美術館の北側展示室を改修し、2007年3月に開館した美術館です。市役所や市内の施設に飾られていた美術品や神戸にゆかりのある芸術家たちの絵画・彫刻作品を所蔵し、公開しています。神戸ゆかりの芸術家たちの作品をじっくり味わえる美術館となっています。

最近では、「鋼の錬金術師展」や「エヴァンゲリオン展」など、異色の企画展も催され、若者が多く訪れているそうです。





## 東灘点描 ～その2～ 「酒蔵」

全国有数の酒どころ灘五郷のうち2つの郷が東灘にあり、今もおいしい酒造りが盛んです。

灘五郷とは阪神間の海岸線に沿って点在する5つの酒造りの盛んな地域の総称であり、東から今津郷、西宮郷、魚崎郷、御影郷、西郷を指す。江戸時代中期にそれまで江戸向けの銘醸地として栄えていた池田・伊丹に替わって兵庫の沿岸地域が台頭、郷が形成された。酒造りに適した様々な好条件のもと発展・拡大を続け、明治中期に今の灘五郷となる。

・宮水の発見 1840年櫻正宗の山邑太左衛門が発見。鉄分が少なくミネラル豊富な六甲山の伏流水は発酵を促進させ色や香りを良くする特長がある。

・丹波杜氏 冬の農閑期に篠山から出稼ぎにやってきた酒造り集団。その高い技術で灘の酒を発展させた。

・播州の酒米 米どころ播州平野から良質の米を入手できた。

・海上輸送の発達 港湾が整備され樽廻船の発着点となったことで江戸への大量輸送が可能になった。

そのほかにも六甲おろしの寒風が蒸米の表面を具合よく冷やすのに適していたことや、六甲山系の急流を利用した水車で精米技術が向上、量産化に成功したことが挙げられる。また江戸時代後期の江戸では居酒屋文化が花開きそこで消費される酒の8割を灘の酒が供給したといわれている。

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では酒蔵全体が甚大な被害を受け、規模縮小や廃業が相次いだ。酒造メーカーは往時の半分以下となったが、一方難局を乗り切るために若手酒造家が中心となって観光を取り入れた新しい取り組みを始めるきっかけともなった。酒蔵を再建して資料館としミュージアムショップを充実させ、家族で楽しめるイベントを開催するなど盛りだくさんに奮闘している。海外進出にも積極的で日本の食文化への関心が高い昨今、日本酒の需要は伸びている。また平成30年には国税庁が灘五郷を地域ブランドに指定、日本酒では全国3例目である。

### 1 櫻正宗記念館

櫻正宗記念館は酒造りに関する資料館というよりもレストランが主体のように見受けられました。せいり蒸しのご飯のついた「半切り弁当」などのランチや鍋などのディナーを食せるしゃれた和食レストランになっています。しかし、資料館部分が少ないとはいえ、そこで上映されているビデオは、戦前期の実際の酒造りの工程を撮影した記録映像で、今では展示品としてしか見ることのできない用具類が実際に使われている様子が見られます。宮水を牛の背に乗せて運ぶさま、禪一丁で素足で米を踏みながら洗う蔵人、わらじをはいて蒸し樽にのぼり、熱い蒸し米を小さな樽に詰めて運び出す蔵人など、丹波から出てきて働く男たちの力強い姿に目をうばわれます。瓶詰めの際には、結い髪の白い割烹着姿の女たちの姿が見えます。できあがった酒をもってカメラに向かう男女の笑顔に銘酒の造り手の誇りを見ました。



### 3 白鶴酒造資料館

白鶴酒造は1743年の創業です。資料館では昔ながらの酒造工程や作業内容を等身大の人形を用いて再現していますが、伝統を重んじる一方で高度な科学技術も取り入れた酒造りを行っています。ここでは日本酒のできるまでを簡単に紹介します。

① 精米（どのくらい米を削るかで本醸造酒、吟醸酒、大吟醸酒など呼び名が変わる）

② 洗米、浸漬（よい蒸米をつくるために吸水率の管理などを厳密に行う）

③ 蒸米（蒸した米は麴づくり、酒母づくり、醪づくり）

④ 麴づくり（蒸米に麴菌をふりかけて麴をつくる。麴の酵素が米のデンプンを糖に変え、その糖を食べる酵母がアルコールを生成する）

⑤ 酒母づくり（蒸米・麴・水に酵母を加えてつくる）

### 2 浜福鶴吟醸工房

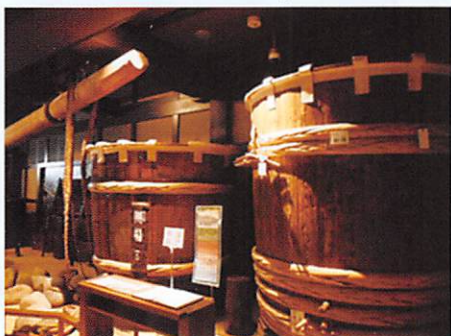
浜福鶴では、酒造りの過程について、「キャラクターの渋い、福ちゃん、鶴ちゃん」が登場するビデオが解説してくれます。展示室の一部がガラス窓になっていて、大きなステンレスタンクの並ぶ工場の様子を間近に見ることができ、伝統を踏まえた現在の酒造りの工程がわかります。

二階の展示室から階段を降りるとそこはショップで、酒とその関連商品がたくさん並べられています。吟醸酒の数々をはじめ、スパークリング酒、ブランド酒やウイスキー樽でねかせた日本酒など趣向を凝らした酒類が買えます。また、甘党にもうれしいヨーグルト甘酒やつぶう水（サイダー）、ソフトクリーム、地酒ケーキなども用意されています。



### 4 菊正宗酒造記念館

六甲ライナー南魚崎駅を降りて北西へ徒歩2分、茶色い板塀に囲まれた菊正宗酒造記念館が見えてきます。この酒蔵は、約360年前の徳川四代将軍、家綱の時代に始まり、1960年に現在地に移築され、1995年の阪神淡路大震災で全壊したあと、全面に建て替えられた





# 酒蔵めぐり



大量の米をスームズに発酵させるためにあらかじめ酵母を増殖させたものが酒母。醗ともいう。雑菌駆逐のために醸造用乳酸を添加するが、代わりに時間をかけて自然の力で乳酸菌を生成させるのが生醗

⑤ **ころべ甲南武庫の郷** (みりんと甲南漬)  
初代高嶋平介が明治29年にみりん製造を開始、明治37年には奈良漬の製造を始めました。昭和5年に「甲南漬」商標登録をして現在に至ります。  
甲南漬資料館には奈良漬の歴史や酒粕の産地である灘五郷との関わりを説明する資料、みりん造りの道具などが展示されています。  
4代目社長により制作された御影郷・魚崎郷の街並模型は震災前の酒蔵を復元したもので昔ながらの土蔵造りの街並みを伝える貴重な資料となっています。  
灘の地酒を月替わりで楽しめるお店やかまどで炊いたご飯と甲南漬がいただける食事処、食に関するカルチャー教室など、地元の良さを発信する基地になっています。

⑥ **神戸酒心館**  
ここのみりんは蒸したもち米・米麴・焼酎だけで仕込む伝統技法が守られ、国内でも数少ない「飲めるみりん」です。甲南漬はみりん粕を使うので本来の奈良漬より甘目に仕上がりが、また野菜のほかに魚介類も漬けるのが特徴です。



⑦ 発酵(2〜4週間で発酵が進む。発酵具合のコントロール、腐敗防止、香気成分などのために醸造アルコールを添加することもある。添加しないのが純米酒)  
⑧ 搾り(醗を搾り酒粕と原酒に分ける)  
⑨ 貯蔵(ろ過、火入れの後タンクでひと夏寝かせる。火入れをしないのが生酒)  
⑩ 樽詰、瓶詰  
新米を用いて冬場に仕込みを始め、11月〜翌年3月に製造した酒が一夏熟成されて秋に出荷されます。丸一年かけておいしい酒が生まれるのです。

このことでは、「生醗(きもと)づくり」という天然の乳酸菌を使って酵母をじっくり育てる方法で「酒母」を作り、酒を仕込みます。それが辛口の酒を生み出すそうです。パンフレットには、「全国千を越す蔵の中でこれを伝承するのは菊正宗を含めてわずか数蔵」とあります。本記念館には、いまや文化財に指定された大きな木桶など実際に使われた用具類が置かれていて、在りし日の酒造りが具体的にわかるようになっていきます。きき酒コーナーもあるショップでは、しばり酒や梅酒など時期に応じた商品を販売しています。

⑥ **神戸酒心館**  
阪神電車石屋川駅を下車し南に徒歩8分、灘五郷の一つ御影郷にこの建物はあります。  
1751(宝暦元)年に創業され、十三代にわたり効率やスピードを追わず丁寧な酒造りに徹して「福寿」の名を守り続けてきました。1995(平成7)年に阪神淡路大震災に被災しましたが2年で復旧しました。「福寿」という銘柄はご存知なくても、「ノーベル賞」の公式行事で提供される日本酒ということで青いボトルをご記憶の方も多いと思います。  
規模的には意外にもわずか8名の職人で製造されているとか。米よし・水よし・風よしと揃って銘酒は自然の風土に育まれて生まれます。もちろん最初は人の手だけで作られた事を思うと冬場の丹波杜氏の感性と努力を抜きにしては語れません。今では製造現場に人影を全く見かけないほど機械化されていますが口にする人々に「福」をもたらす心に変わりはありません。いまや瓦屋根と黒い板塀の続く酒蔵通りは立派な工場群と変わっても「人をハッピーにしたい」という神髄はそのままであるとの印象を強く持ちました。



## 研究ノートより

## ストレスを和らげる

甘味とマインドフルネス瞑想

倉賀野 妙子 (S40家食)

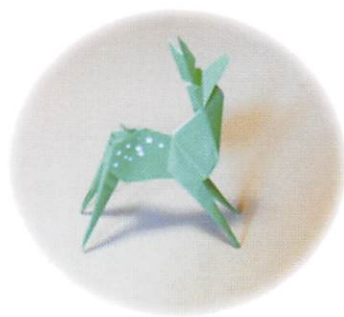
(S42家修食)

甘い物をとると不安感などを癒し、痛みも和らげる。オピオイド系ホルモンの働きによるもので、これは麻薬様物質と言われ鎮痛効果と共に心地良い満足感も生む。甘味はこのホルモン分泌を促すことでストレス状態を軽減させる。甘味を好むのは生まれつき備わっており、新生児は甘味を他の味と識別し好ましい味として感じ、安心した、満足した表情をする。言葉や行動がままならずストレス適応力が未熟な赤ちゃんにとって母乳が甘いのは理にかなっている。大人にとっても仕事の手を休めてのひと時に甘味を口にするると心身のリフレッシュ効果が促される。

もう一つは、自らのストレス耐性を向上させると示唆される方法を紹介したい。数年前からの痛みが原因不明のまま長引いていた時、緩和医療の専門医に出合った。その折、痛みの構成要素の一つとして精神的ストレスがあると指摘を受け、治療の一つとして欧米で普及しているマインドフルネス・ストレス低減法を提案された。宗教色を取り除いた瞑想法である。ストレスを引き起こす刺激は幅広い。精神的なものは、人間関係、仕事の責任、肉親の病氣、介護など日常の出来事をきっかけにこれ解釈して自分の期待との違いに気づいて心配することからスト

レスが始まる。適度なストレス経験は環境に適応する力や行動能力を発達させ、その幅を広げるが、限度を越すと心身の健康を損なう。

ストレスをうまくマネジメントする上で瞑想がどのような効果を持つのか調べた。脳は可塑性があり日常の様々の刺激により対応する脳の各領域の形態や機能も変化する。マインドフルネス瞑想とそうした神経科学的な研究成果が近年多く積み上げられ医療だけでなく心理療法、企業や教育現場にも活用されている事を知った。注意力、集中力を高め、自らの感情・思考・感覚などに気づき、それらを客観的に受け止める力を育む。その結果、動じない安定した心が育まれ、ストレスの感じ方が弱くなるという。感情を無理して押し込めるとストレスをより強く感じ長引くという。半信半疑で実践1年半を過ぎた今、未だ途上であるが、痛みがコントロール出来ており、感動する・楽しく・充実した時を多く過ごす事が痛みをなくすことを認識できている。生きていく限りストレスはつきものである。マインドフルネス瞑想は心の健康をはかる手立ての一つになるのではないかと思う。



## ハンセン病世界と奈良女

蘭 由岐子 (S56家生)

(S58家修生)

ハンセン病世界と出会って、かれこれ30年。熊本に在住していた1980年代後半に国立療養所菊池恵楓園附属看護学校で「社会学」の非常勤講師をしていたことが直接のきっかけである。以来、ハンセン病問題の社会学的研究を行っている。(研究成果は『病いの経験』を聞き取る―ハンセン病者のライフヒストリー―「新版」(生活書院、2017)にまとめた。)

明治期の熊本に、ハンセン病者の救済を始めた英国の宣教師ハンナ・リデルがいた。彼女の秘書、飛松甚吾氏のご息女三名が佐保会会員であった。一番上が評論家の水野破魔子氏。妹の高見多恵子氏、その下にもうひとり方おられたように思う。熊本支部総会で遠目にお三方の姿を拝見したことはあつても言葉を交わすことはなかった。研究に着手したあと、高見氏がリデル・ライト両女史顕彰会の会長をなさっておられるのを知ってお話をうかがいに行こうと思った矢先、その訃報に接した。残念至極であった。

熊本でリデルが姪のライトとともに私立病院で病者の救済にあたる一方、日本政府は、病者たちを公立の療養所に収容する方針を決めた。当初は故郷を追われ放浪していた病者たちの救済のために公立の療養所が設けられた(1909年)

が、その後、病気であることを理由に療養所収容がなされるようになり、その傾向はますます強まった。国立の療養所も開設され、それまでに建てられた公立の

療養所も戦時期に国立に移管されていた。以降、1996年まで隔離政策は継続した。現在も国立療養所が13園全国に点在している。戦後、ハンセン病は特效薬の導入で完治する病気となったが、ほとんどの病者は療養所での生活を余儀なくされた。ハンセン病は末梢神経を害するので失明するひとも多い。身体障害をもつ彼らの支援に当たったのが奈良女の点訳部の諸姉である。職員の松沢誠一氏が学生を指導なさったとか。OG諸姉にぜひお話をうかがいたいと思ひながら、いまだ実現できていない。

わたしの生活経営学科の恩師のひとり、「老年学」の森幹郎先生が、かつて療養所の職員をなさっておられた。そのことを知ったのは、ハンセン病研究に本格的に取り組みはじめた1994年のことであつた。資料館で見かけた本の背表紙に同姓同名の名前を見かけたとき「まさか、あの森先生か」と思った。学生時代にはハンセン病の「ハ」の字も先生の口からうかがったことはなかったからである。しかし、思い返してみれば、授業の一環で施設見学に訪れた大倭紫陽花邑(おおよまとあじさいむら)は、ハンセン病者の宿泊施設「交流(むすび)の家」に土地を提供した宗教法人であつた。「交流の家」の建設には、点訳部のメンバーも関わっていたという。2008年秋、お元気な先生を群馬県榛名山のふもとの老人ホームにおたずねすることができたのはさいわいであつた。

このように、研究を進めるにつれてハンセン病世界と奈良女の関係が深いことを知った。そして、久方ぶりに出席した兵庫県支部総会で歌われた「奈良女子高

等師範学校校歌」の詞が、「救癩」につくした貞明皇后によるものであったことを知り、女子教育もハンセン病者隔離／救済も「近代」の産物であることにあらためて気づかされたのであった。

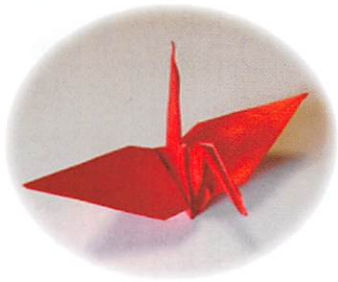
これまでにハンセン病世界と関わられた先輩諸姉の声をおうかがいできれば幸甚である。

## 佐保の絆

### 祖母と私

高木真由美（H7理数）

私は平成7年に卒業し、高等学校の教師として勤めはじめ、気が付いたら20年以上が過ぎていた。父方の祖母（郷美枝）もまた同窓生で、昭和8年に奈良女の前身の高等師範学校を卒業し、中学校の教師として勤めていたそうだった。祖母に憧れて教師になった、とはあまり思っていないのだが、気が付いたら同じ職に就いている。もし、祖母が私の「母」であったならば、反発もあつたかもしれないが、祖母と孫という距離感が、ちょうどよかったのだろう、知らず知らずのうちに影響は受けているように思う。



私は時々、父に子供を預けることがあるのだが（母は亡くなっている）、そんなとき父は、自分が預けられていたことを思い出すそうだった。父に預けて出勤するとき、子供が泣かないように、ちょっと特別なお菓子を託したことがある。「子供はいつもとは違うものももらえるなんて、嬉しいけれど、なんだかおかしいぞ」と、何とも言えない気持ちになるものだ。」と子供の気持ちを代弁してくれた。父自身が預けられた経験があつたからこそ、孫の扱いも上手いのだろう。祖母にも父にも感謝している。

私の父は昭和22年生まれなので、当り前だが、祖母は昭和22年に出産をしている。昭和25年に原田中学校で女性初の校長に任命されたそうだが、妊娠中も、校長室に入りする機会も多かったのだろう。

「郷先生は校長室で赤んぼを生んだ」と、今でも神戸市内の中学校でまことしやかに語り継がれているようである。私の父が校長室で生まれたかどうかは、わからないが、校長室で破水したという話は、どうやら本当のことらしい。（義叔母は本人から直接聞いたそうだった。）

私は、2年半の育児休暇を終え、一昨年からは復職している。3歳と1歳の子供たちは、かわいい盛りではあるけれど、手もかかる時期であり、教師とおかあさん業の二重のわらじはなかなかしんどい。祖母のような肝つ玉母さんには、自分なれそうにないが、周りの人にも助けってもらいながら、なんとか毎日を過ごしている。

### 「読書同好会」に参加して

山本三和子（S55理化）

皆様、佐保会兵庫東支部に「読書同好会」があるのをご存知でしょうか。私とその読書会の存在を知り、参加するきっかけは「キラキラネームの大研究」の作者、伊東ひとみ氏が兵庫東支部総会の演者となられたことでした。この本を合評するということで初参加し、以後は都合がつくときは参加しております。この会の良い所は①開催が、数か月に一度でゆったり時間が過ぎるようで、余裕がある②感想や印象を、出席者の方々の様々な角度から聞くことができる③自分が読まないであろうジャンルの本に接することができる④映像も良いが、原作があれば原作を読む機会があること。

私の読書のスタイルは基本的には、電子書籍で読み、電子化されていない本は紙媒体で読みます。電子書籍は下のほうに「今のスピードで読むと最後まであと3時間です」とか「今全体の40%読み終えています」などメッセージが表示されます。正直読みにくいなと思った本、例えばノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロの本も、AIに励まされているようで読了する事が出来ました。私の周りでは、映像化された彼の作品は観たが原作は読んでいない方が多かったです。全体像を知るにはやはり原作を、と改めて思いました。映像では、演出家や演者の力量なども問われ、原作とは違ったメッセージが伝わることもあるからです。

私の以前の読書と言えば、ハウツー本が主でしたが、この会に参加して新しく

本の楽しみ方が増えました。ざっくりばらんに感想を述べおしゃべりを楽しむのがモットーだそうです。さあ皆様、ご一緒にいかがですか。

「佐保会兵庫読書会」は平成24年4月に発足。第5木曜に集まり、平均年4回のペースで読後感を話し合っております。次回の合評本は参加者の提案で幅広いジャンルの本から皆で選びます。毎回出された意見や感想は「佐保会兵庫東支部」のホームページにブログにて報告されます。ご関心がおありの方は是非一度アクセスなさってください。次回の日程、会場や合評本はその都度前もってご案内しております。皆様のご参加をお待ちしております。

### おめでと〜ございませう

平成30年1月開催の「第72回姫路市美術展（写真の部）」に吉田扇会員（S41家被）の出品作「影はおしゃべり」が姫路市長賞に選ばれ、「実に明快。踊る人物とその影が見事である」と称賛されました。受賞をお慶び申し上げます。



事務局だより

平成30年度 佐保会兵庫県支部役員・各委員等

役職名	氏名	卒業年学部	地区
支部長	永福より子	S44家住	神戸市北区
副支部長	谷本 彰子	S49文英	神崎郡福崎町
庶務	中井 昌子	S43家食	伊丹市
	乙武ヨシミ	S44理生	明石市
	八百美知子	S52理生・S54理修	神戸市垂水区
	富山 和子	S53家住	たつの市
会計	西山衣里子	H14生環・H16博前入	神戸市中央区
	門脇 千里	S53家食	加東市
会計監査	上田 俊子	S37理数・S38理専数	神戸市東灘区
	高階 時子	S48文国	加東市
株の会 運営委員 (○印代表)	○鈴木美根子	S42家食	神戸市西区
	片寄眞木子	S36家食	尼崎市
	山下 知子	S39理物	神戸市東灘区
	乙武ヨシミ	S44理生	明石市
ホームページ 研究会 運営委員 (○印代表)	岩崎 雅美	S44家被	明石市
	○丸岡 玲子	S53理数	明石市
	鈴木美根子	S42家食	神戸市西区
	乙武ヨシミ	S44理生	明石市
	桂 美穂子	S46理生	姫路市
	賀川 栄	S48理数	たつの市
	富山 和子	S53家住	たつの市
西山衣里子	H14生環・H16博前入	神戸市中央区	

一般社団法人佐保会	監事	山崎古都子	S41家住・S43家修住	芦屋市
	理事	片寄眞木子	S36家食	尼崎市
代議員	中井 昌子	S43家食	伊丹市	
	永福より子	S44家住	神戸市北区	
	鈴木美根子	S42家食	神戸市西区	
	乙武ヨシミ	S44理生	明石市	
	橋本 陽江	S48理化・S50理修化	明石市	
	谷本 彰子	S49文英	神崎郡福崎町	
	丸岡 玲子	S53理数	明石市	
	門脇 千里	S53家食	加東市	
富山 和子	S53家住	たつの市		

一般社団法人佐保会監事、理事、代議員の任期は2020.7.31まで

平成29年度事業  
 平成29年6月3日(土) 支部総会(風月堂ホール)  
 平成29年8月30日(日) 第23回地区リーダー会(神戸市勤労会館)  
 平成29年9月30日(土) 拡大役員会(神戸市勤労会館)  
 平成29年11月8日(水) 第42回睦会(楠公会館)(昭和49年卒業会担当)  
 平成30年3月1日(木) 「支部だより」第41号発行(北播磨地区担当)  
 平成30年3月3日(土) 「支部だより」第41号等「佐保会報」『Today』等、全会員に発送(明石市生涯学習センター)  
 平成30年3月3日(土) 「支部だより」引き継ぎ会(北播磨・東灘区・明石市生涯学習センター)  
 平成30年3月31日(土) 会計監査・役員会(神戸生活創造センター)  
 ☆事務局会議 全8回の開催  
 平成30年度事業  
 平成30年5月27日(日) 支部総会(ホテルクラウンパレス神戸)  
 平成30年8月19日(日) 第24回地区リーダー会(神戸市勤労会館)  
 平成30年10月10日(水) 第43回睦会(楠公会館)(昭和50年卒業会担当)  
 平成31年2月10日(日) 「支部だより」第42号発行(東灘区担当)  
 平成31年2月16日(土) 「支部だより」第42号、「佐保会報」『Today』等、全会員に発送  
 平成31年2月16日(土) 「支部だより」引き継ぎ会(東灘区・灘区)  
 平成31年3月30日(土) 会計監査・役員会 全7回の開催  
 ☆事務局会議 全7回の開催  
 (参考)平成31年度について  
 (1) 支部総会 6月1日(土)(風月堂ホール)  
 (2) 「支部だより」第43号 編集は灘区の担当  
 (3) 「第44回睦会」は昭和51年卒業会担当

平成29年度収支決算報告、平成30年度予算

支出の部 (円)

収入の部 (円)

科目名	平成29年度決算	平成30年度予算
総会補助費	0	50,000
通信費	220,680	120,000
印刷費	39,454	30,000
交通費	136,850	140,000
事業費	支部だより作成費	200,000
	睦会補助	70,000
	株の会補助	50,000
	ホームページ研究会	35,000
	地区リーダー会	60,465
もより会補助	160,992	167,040
慶弔費	60,182	60,000
事務費	127,860	100,000
予備費	0	0
小計	1,161,483	1,087,040
次年度繰越	3,559,187	3,261,206
合計	4,720,670	4,348,246

科目名	平成29年度決算	平成30年度予算
前年度繰越	3,783,527	3,559,187
支部会費	655,500	655,500
貯金利息	3,021	3,459
本部より補助	137,820	130,100
雑収入	48,302	0
寄付	92,500	0
合計	4,720,670	4,348,246

今年度もご寄付を頂きまして有難うございました。支部活動の一層の活性化のために引き続きのご支援をお願い致します。

編集後記

「支部だより第42号」を神戸市東灘区が担当させていただきました。小さい編集グループならではの密な意見交換ができたことや会員の皆様のご寄稿など快く引き受けて下さったおかげで編集作業はとても順調でした。また同窓会活動を地道に繋いでこられた先輩方のご努力を改めて知る機会となりました。感謝の気持ちで一杯です。

昨年は地震、台風、豪雨などの自然災害が相次ぎ、心が痛みました。記事では大震災から復興した東灘区をご紹介しますが、来たる新しい時代の安寧を願ってやみません。

元号が変わる節目の年に絆のバトンを次にお渡しできることをうれしく思います。ご協力いただいた方々に編集委員一同心より御礼申し上げます。

編集委員(蘭・上田・橋本・松本・山下)

資産内訳(平成30年3月31日現在)

定額郵便貯金	2,450,000円
郵便貯金	735,778円
振替貯金	373,409円
合計	3,559,187円